

乗用管理機による麦土入れ作業

近年の麦栽培では、品質を重視した栽培が求められており、追肥や土入れ等の管理作業の重要性が高まっています。麦の管理作業は、管理機等の小型機械による作業が中心でしたが、大規模生産者や集落営農組織からは、作業性の高い乗用作業機が求められています。

そこで、大豆等で使用されている乗用作業機を利用した管理作業方法とその作業性を検討しました。乗用管理機を利用することで、ha当たりの麦土入れ作業が2.5時間で可能となり、麦株の開張による倒伏軽減や収量品質向上効果が確認されました。



乗用管理機による麦土入れ作業

有効作業幅 2.1m

ほ場作業量 40.3a/時

土壌飛散量 3.1kg/m²



中耕用ロータリー



土入れ後のほ場



収穫時の小麦

